

が認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切です。

【日常生活に手助けや介護が必要】

道がわからん
ようになって
まった



触らん
といてくれ！



本人の思い
何も分からない人と
考えないでほしい
自分らしさを
尊重してほしい

- たびたび道に迷う
- 落ち着きがなくなる
- 季節にあった服が選べない
- 事実とは違う話をする
- 買い物やお金の管理にミスが目立つ
- 家電がうまく扱えない
- すぐに怒る
- 勘違いや誤解が多くなる
- 着替えや入浴などを嫌がる
- 家族や近隣とのトラブルが増える

日々自分らしく生きていく、
です。是非ご覧ください。



「厚生労働省作成」

- 接し方や介護、医療について勉強しておく。
- 本人の役割を全てとりあげず、出来ることはしてもらう。
- 本人が安心出来る環境づくりに配慮する。

● 介護者あつての介護です。まず

住まいの環境を整える

生活機能が衰えても安心して生活する為に、
事故を防止し、介護にも役立つ様に生活環境
を整えましょう。



見守りの体制を充実させる

通い慣れているはずの道などでも迷って
しまう危険があります。郡上市ではGPS機
能付き機器の助成を
行っています。いざ
というときに備えた
見守り体制を充実さ
せましょう。



仲間づくり

- 認知症カフェ（良良カフェ）
- 認知症の人と家族の会
など

権利を守る

- 日常生活自立支援事業
- 任意後見制度
- 法定後見制度
など



自宅での活用

- 訪問看護
- 訪問リハビリ
- 訪問介護
- 居宅療養管理指導
- ショートステイ
- 訪問入浴

通いでの活用

- デイサービス
- デイケア
- 小規模多機能型



老人保健施設（要介護1～）